令和７年度
第１回初級講習会

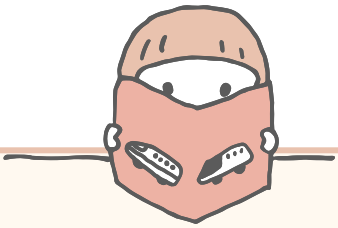
報告

令和7年度　第1回初級講習会を、６月12日(木)～6月20日(金)の内、5日間で開催しました。各先生からは援助の現場ですぐに役立つ内容をご講義いただき、充実した講習会になりました。
参加者は講習会を通して、提供会員として活動するための基礎的な知識や技能を身につけようと熱心に受講されました。

エプロンシアターの実演

救命講習で異物除去の実演

子どもの発達段階に応じた効果的な関わり方



えひめ子育てサポートラボほっこりん
主宰　　玉井 利江　先生

子どもの発達段階に合った効果的な関わり方では「共感・理解・見守り」を基本に、効果的なコミュニケーションや、子どもができている当たり前の行動に注目する「ポジティブ行動支援」について実践を交えながらご講義いただきました。

受講者の声

何気なくしている子どもに対してや家族に対しての会話が、自分の気持ちの持ちようで変わると思うと興味深く、楽しかったです。傾聴が必要な場面が多いのに、なかなかできていないと思っていましたが、自分の内側に目を向けるといいのだと分かって少し安心しました。

身体の発育と病気

石丸小児科
院長　　中野 省三　先生

子どもの成長・発達の多様性や、子どものかかりやすい病気では、発熱時や痙攣時の対処方法を教えていただきました。また感染症やアレルギー疾患についても幅広くご講義いただきました。自己判断しない大切さも学びました。

受講者の声

子育てをする中で、子どもの病気についての知識は少しありましたが、本日の講義でより具体的に知識を得ることができ、大変為になりました。先生の実体験などもお話ししてくださり、より注意点などの意識向上に繋がり貴重でした。

子どもの心の発達とその問題

児童発達支援センター あゆみ学園
児童発達支援管理責任者　今村 高博　先生

発達障害の特性とその２次障がいについて学び、子どもとの関わり方(アセスメント・行動観察、着目、整理、記録)し、原因を推測し環境を整備・見通しを立てることの重要性、伝え方や肯定的に褒めることも大切であるとご講義いただきました。

受講者の声

まずは大人が「知る」「理解する」ことが一番大事だと感じました。その子ども一人一人の特性を知り、その子に合った対応をすることで、困っている子どもの手助けができるようになりたいです。

看護の基礎知識

日本赤十字社　愛媛県支部
事業推進課 福祉係長　　鵜久森 陽子　先生

「子どもに多い事故と予防」について、屋外や室内で事故の誘因になる場所やものについて、また事故の予防についてご講義いただきました。子どもの気になる症状と手当では、応急処置としてバンダナやストッキングを使用する方法を学びました。

受講者の声

家庭の医学は毎年変わる！と思えるくらい、新常識なことがいくつかありました。また、ストッキングやバンダナなど身近な物を使っての応急処置方法を学べたので、災害時にも役立ちそうです。

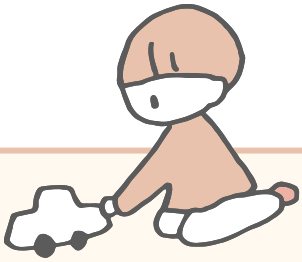
安全・事故・救命講習

日本赤十字社　愛媛県支部
事業推進課長　　平野 昇　先生

一次救命処置(心肺蘇生)の方法を、実際に人形やAEDを使用し何度も実習を行いました。胸骨圧迫では成人と小児(未就学児)の仕方の違いや気道確保、異物除去の方法を教えていただきました。

受講者の声

救命講習は学生の頃に受けた以来だったので、しっかり受け直すことができ、自信につながりました。心肺蘇生は気が付いたらスピードが速くなっていたので、とても神経を使うことが分かりました。今からの季節は、熱中症にも気を付けたいと思います。



子どもの世話

NPO法人　子どもリエゾンえひめ
保健師　　星田 ゆかり　先生

子どもの呼吸・脈拍・体温調節機能・消化機能・排泄機能・脱水・免疫機能・神経系の発達・睡眠・清潔について、子どもを預かる上での注意点を含め分かりやすくご講義いただきました。

受講者の声

分かっていたつもりの子どもの世話でしたが、より深く知識を得ることができました。睡眠に関しては、子どもたちに時間を確認しながら意識して実行してみようと思います。

保育のこころ

松山市こども家庭部　保育・幼稚園課
野本 智恵　先生　　松浦 ゆかり　先生

乳幼児期の発育とかかわりについて、年齢ごとの発達状況や対応の方法について詳しく教えていただきました。また、子どもの事故を防ぐための注意点を学びました。

受講者の声

イヤだという自我が出てくる2歳ごろ、親として自我の成長をしっかり受け入れてあげていたかな？と少し反省するところもありました。子どもの成長や月齢に合った遊びや接し方の大切さを勉強できて良かったです。

子どもの遊び

松山市こども家庭部　保育・幼稚園課
野本 智恵　先生　　松浦 ゆかり　先生

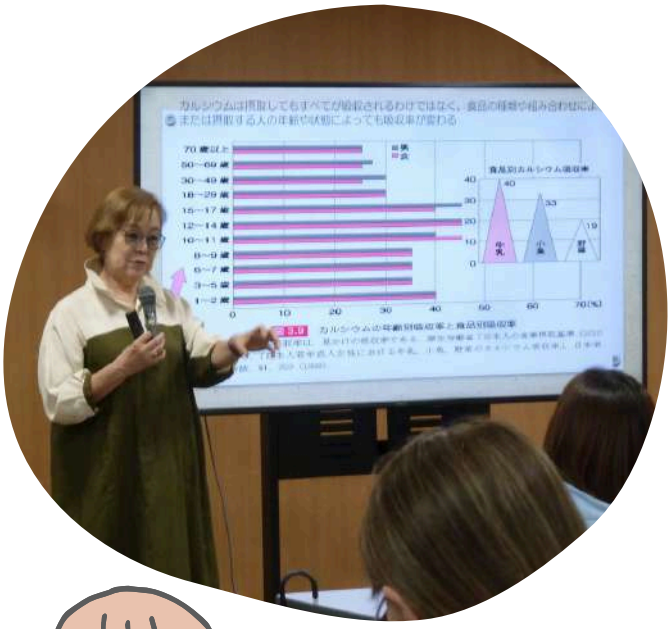
子どもの成長に合わせた遊びの紹介や、手遊びや絵本の読み聞かせを実際に見せていただきました。また、身近にあるもので楽しく遊べるおもちゃの制作実習を行いました。

受講者の声

・実際に使えて楽しい遊びをたくさん紹介していただいて童心に返り楽しかったです。
・具体的な遊びを教えていただけたので楽しかったし、これから子どもたちとどうやって遊んでいこうかなという思いが芽生えました。

子どもの栄養と食生活

株式会社　ヘルシープラネット
管理栄養士　　今川 弥生　先生



子どもの栄養と食生活について、離乳食から幼児期の食生活や生理的特徴と発育・発達について、エピソードを交え詳しくご講義いただきました。「食事はバランスよく楽しく食べる」子どもの食育の大切さを学べました。

受講者の声

子どもの成長に欠かせない食について学べて有意義な時間となりました。産後の母親が貧血だと、その母乳を飲む赤ちゃんも貧血になってしまうというのは衝撃でした。全てにおいて子に与えるものは、ちゃんと考えて与えていかなければいけないと再度自覚させていただきました。

事業を円滑に進めるために

まつやまファミリー・サポート・センター
アドバイザー

ファミリー・サポート・センターの意義と役割について、また援助活動のしくみと事務処理について説明を行いました
その後、井藤館長の終講挨拶のあと会員証を交付し、参加者は今後の援助活動に対する希望にあふれていました。

受講者の声

自分にできる事は限られておりますが、同じ子育てに励むお母さんたちの助けになれるよう、できることはさせていただきたいと思いました。とにかく事故等ないよう努めたいと思います。

熱心にご受講いただき
ありがとうございました

参加者
５日間１０講座
延べ150人

提供会員資格取得者
１２名